

チーム えがお



発行者:校長 岡田達也

【学校教育目標：自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成】
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

～ えがお かがやき かんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

「税金」って大切なんだね! 6年生 租税教室開催



6年生は、社会科で「私たちの暮らしと政治」を学習しています。その中で、「税金」の仕組みについて学習します。そこで、19日(木)の3校時に笠岡市役所の担当課から2名の方を講師とお招きした租税教室を開催し、税金について詳しく教えていただきました。

講師の方から、税金の種類や税金がどのように使われているのかなど、資料やDVDを使って分かりやすく説明していただきました。子どもたちは、知っている税金の種類を発表したり、税金がどんなことに使われているかをグループで話し合ったりして、楽しく税について学ぶことができました。実際の1億円の見本を見せていただき、その大きさと重さ(約10kg)を体感し、驚いていました。

私たちの身近な学校や図書館などにも、税金が使われていることを知り、税金の大切さを実感をもって学んだ子どもたちです。子どもたちの最後の感想にも、税金の大切さがたくさん書かれていました。普段の授業とは一味ちがう、よい学びの機会となりました。



「早めに」「だまって」「すばやく」集合し、「しずかに」待つ!

3学期から、児童会が中心となって、一斉下校(3時下校・4時下校)がスムーズに行えるように声かけを行っています。これまで、開始のチャイムが鳴ってもすぐに集まれなかったり、なかなか静かにならなかったりして、一斉下校に多くの時間がかかっていました。「静かにしよう」と呼びかけてくれる子もいたのですが……。

そんな実態を改善しようと、ついに児童会が立ちがありました。(中・高学年の)一斉下校前にみんなで「早めに」「だまって」「すばやく」集合し、「しずかに」待つよう、児童会運営委員が交代で校内放送で呼びかけを始めました。すると、6年生を中心に高学年が主体となってきびきびと行動し、一斉下校の集合や待つときの態度も大きく改善されました。子どもたちが考え、自ら行動することで、一斉下校がスムーズに行えるようになりました。早めに集まった子どもたちが座って静かに待っていると、後から来た子も場の空気を読んで(黙って静かに)行動するものです。それが、集団の心理なのです。



児童会運営委員の子どもたちだけでなく、「これではいけない」「よくしよう」と感じていた子どもたちが自ら、一緒になって行動を起こすことで、学校生活がよりよくなっていきます。こうした子どもたちの自治的能力がとても大切です。「集団」をよりよくするのは、教師だけでなく集団に属する子どもたちの役割でもあります。これからも、自治的能力の向上に努めていきたいと思えます。